

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 磐田聖マリア幼稚園
 園長 富田麻実
 磐田聖マリア幼稚園 学校関係者評価委員会
 委員長 内藤かず子

1 幼稚園の教育目標

・建学の精神

- キリスト教的(カトリック)精神に基づき、学校教育法により幼児の心身の健全な育成を計る。
- やがて神の愛を知り、人々と愛の生活ができるように幼児の心を育てる。

・教育目標 「愛の心でがんばる子」

・具体目標 神を敬い きれいな心 正しい考え じょうぶな体

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

・カトリック(キリスト教)の精神を学ぶ

初任者 建学の精神を理解し、幼稚園で働くものとして子どもたちに愛の心を注ぐ日々となるよう努める。

中堅者 初任者に寄り添う(本園の考え方、園の実務について具体的に伝える。)

年長者 園の精神に沿って保育が行われているか確認し、問題点の指導に当る。一緒に考え修正していく。

・モンテッソーリ教育の実践 園生活1日がM教育に繋がりを持つ・園内研修の充実。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価項目	自己評価(令和 4年 3月 4日)		学校関係者評価(令和 4年 3月 8日)			
	評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見		
教育内容	1	理念・方針	B		B	
	2	園の課題	B		B	
	3	行事の精選	A		A	
	4	園児指導	A		A	
	5	免許・資格	A		A	
	6	職員の課題	B		B	
	7	研修の企画	C	リモート研修での地区研修の参加はおこなえたが実技的な研修参加できなかったことが残念である。園内でできることから取り組んでいきたい。	B	研修の機会が以前のように作れない状況の中で、リモート研修や自主研修、書籍での情報収集などの努力が感じられる点を評価する。
	8	環境設定	A		A	
子育て支援	9	未就園児	C	今年度は昨年から引き続きコロナ対策として園庭開放などできなかった、体験保育、導入保育は辛うじて行うことが出来た。今後やっていきたい。	B	プレスクールや導入保育などの取り組みも出来ており、努力している様子が感じられる。次年度の入園も定員を満たしている。
	10	在園児	A		A	
	11	児相等の連携	A		A	
	12	預かり保育内容	B		B	
	13	預かり保育体制	C	仕事を持つ母親が増え利用も増加しているそれを受け入れるための職員確保が課題である。ハローワーク、派遣も視野に入れ採用を考えたい。	B	職員の確保が課題ということであるが、行政にも状況を相談するなど支援を受けて行くことで解決方法を見つけていく。
安全管理	14	施設と設備	A		A	
	15	防犯体制	A		A	
	16	安全衛生管理	A		A	
	17	アレルギー対応	A		A	
	18	防災対策	B		B	

評価項目		自己評価(令和 4年 3月 4日)		学校関係者評価(令和 4年 3月 8日)	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
人事管理	19 労働条件明示	B		B	
	20 時間外勤務	B		B	
	21 就業規則	B		B	
	22 労働者名簿	A		A	
	23 自己評価	B		B	
財務管理	24 予算作成	A		A	
	25 決算の分析	A		A	
	26 情報開示	B		B	
	27 個人情報保護	A		A	
	28 経理規程	A		A	

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
・カトリック幼稚園の教師としての資質向上	・カトリック精神について司教様、神父様の講話を聞いたり出された印刷物等を参考に自分を高めていく。 ・保育者自身が愛の精神で子どもに接し、毎日の祈りを大切に、神様を感じ保育に関わっていく。
・研修の参加、園内研修の充実	・職員全体での研修では、精神面の学びを深め、経験に応じた実践・実技の研修を有資格者を中心に園内研修として進める。市、県の研修にも積極的に参加する。
・職員の連携と協力体制	・勤続5年以内の若い職員が多くなり保育者育成も大切な園としての課題となっている。園内のみに収まらず地域や関連する他園や機関での学びにも参加していく。職員間でなんでも話し合える状況を作る。

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和 4年 3月 15日 ～ 令和 4年 4月 15日

●公表方法 1, 学内掲示板による掲示 2, ホームページ掲載

記入日 令和 4年 3月 11日

記入者 園長

富田 麻実

